

# 泊発電所 3号炉 地下水水位設定に係る対応骨子（防潮堤設置後）

島根 2号炉における ① 設計地下水水位の設定と ② 地下水排水設備の信頼性向上の考え方をベースとする。

## ① 設計地下水水位の設定

- T.P. +10.0m盤工エリアに設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及びA1, A2-燃料油貯油槽タンク室については、既存の地下水排水設備の機能に期待し、建屋基礎底面下に設定する。
- 上記建屋以外の施設等については、上記建屋の既存の地下水排水設備の機能には期待せず、地形等を適切にモデル化した浸透流解析を実施し、その結果に基づき地下水水位を設定する。

## ② 地下水排水設備の信頼性向上

- 既存の地下水排水設備を活用する方針とする。  
(地下水水位低下設備を新設した島根 2号炉との相違点)
- 既存の地下水排水設備の信頼性向上対策として、Ss機能維持、多重化、非常用電源確保といった対策を施す。
- 地下水排水設備の集水管について、地上部からアクセス可能な点検口を新たに設けることで、建屋基礎底面下に設計地下水水位を設定する建屋の直下及びその周囲に敷設される範囲全域を、点検及び清掃可能な構造に改善する。